

若葉かおる心地よい季節になってまいりました。皆様如何お過ごしでしょうか。

連日報道されている4月14日に熊本を襲ったM7・4の地震。その後さらに相次ぐ強い余震による死者49人、関連死13人、けが人1383人(4月26日現在)私の実家鹿児島は幸いに被害はほとんどありませんでしたが、熊本市内の近くに住む友人に尋ねると事の深刻さがひしひし伝わってきます。非常に残念ながら本願寺派のお寺も6カ寺全壊されたそうです。

現在余震も徐々に治まりつつあり、ボランティアの方々など積極的に活動されている画像など拝見すると只々頭がさがる思いがいたします。

さて、先日あるご自宅にご法要に伺った時非常に考えさせられるご意見をいただきました。それは、法要が終わりお茶を頂いている時のことです。私の前に座っていらっしゃる女性の方がある外人の友人から「あなたは今回の地震をどのように考えるか?」と質問され答えに困ったことを率直にお話くださいました。その外国の友人の方からは

宗教的視点による今回の地震に対する解釈が返ってきたそうです。その後短い時間でありましたが、ご家族の方々と日本人の宗教感について少しお話しすることができました。

その席で私は仏教による今回の地震の考え方は「因縁果(いんねんか)」によることをお伝えしました。

私達が仏教の勉強に入る時まずお釈迦様がお説きになった中心の教えが「縁起」であることを教わります。縁起とは一般的にいう「縁起がいい、わるい」ということばの意味とは違います。縁起とは「因縁果」ともいい、必ずすべての物事に原因がありそれが条件となり次なる結果が生じたその結果が原因をつくりそしてまた結果となってゆく。あらゆるものは関係性の中にありそこにはなにひとつ独立し完結しているものはないと…

ちょっと難しくなりましたが、その席では「今回の地震に関して仏教の考えでお答えすれば因縁果(因果応報)で考えると想定外、未曾有といったことではなく必ずなにかの原因によって引き起こされた災害であ

るはずです。」といった内容でお話させていただきました。

しかし、どうでしょうか? 実際被害に遭われた方が仏教を知っていたとしてもそのように冷静に思えるでしょうか? 私は帰りの車の中でハッと思い胸が詰まりました。「大事なことをお伝えしていない!」

仏教には智慧と慈悲があります。この二つをしっかりと聞いてゆく教えです。先程の「因縁果」の話は智慧の話です。浄土真宗の教えで一番の重要なところは阿弥陀如来様の慈悲のこころを聞かせていただくことです。あらゆる感情から離れることができず縁に触れ怒ったり悲しんだり苦しみ迷うすべてのものを救うべくはたらいてくださっている仏様のお慈悲のこころを聞かせていただき慶び感謝する宗教です。この宗教をこと細かく伝えてくださった方が親鸞聖人であり七高僧(七人の高僧)様方です。

改めて浄土真宗の要に気づかされ、この度の御法に感謝いたしました。

南無阿弥陀仏